

◆ブレイクと「ヨブ記」



《ヨブと妻と友人達》
1785年頃 ペンと水彩

ブレイクが初めて「ヨブ記」に取り組んだのは、1785年、画家28歳の時、ペンと水彩による、《ヨブと妻と友人達》であった。これは、ジェームズ・バリーの同主題のエッチング(1777年)に触発されたもので、旧約聖書に基づく一連の素描の一部として、《エゼキエル》と対作品をなすものであった。ここでのヨブは、信仰のあり方を示す典型の一つとして描かれている。後にこの素描は、単彩の水彩画でより入念に描き直されている。



《ヨブの不满》
1785年頃 ペンと水彩

1793年には《ヨブの不满》と《エゼキエル》の2枚は銅版画として彫られた。その後ブレイクの当時の有力なパトロンであったトーマス・バッツの要望によって「聖書」を題材とした連作をテンペラと水彩で制作した折りにも、《ヨブと娘たち》(1799年)、《旋風の中からヨブに答える神》(1803-05年)を制作している。



《ヨブの不满》
第1ステート 1793年頃

1805-06年頃、バッツのための21枚による『ヨブ記』連作(バッツ・セット)を水彩画で行った。これは以前のものとは異なり、ヨブの逸話全体に対するブレイク独自の解釈とも言えるものであった。同連作は1821年には、風景画家ジョン・リネルのための21枚のセット(リネル・セット)としても制作され、さらにバッツ・セットに感銘を受けたリネルは、1823年に銅版画集『ヨブ記』を注文した。ブレイクは新たにスケッチを作り、それをもとに彫板を施した。作品は1825年3月8日発行の年記を持っているが、実際に出版されたのは1826年で、ブレイクは翌年1827年8月、69歳で亡くなっている。



《エリバズの幻視》
1805-06年頃 ペンと水彩



《サタンの墜落》
1805-06年頃 ペンと水彩



《ヨブの息子たちの破滅》
1823年 鉛筆